

# 超高齢社会における東京のあり方懇談会

~現地に出向き、現場の声を聞き、議論を重ねてきた、その歩み~

日本医療政策機構  
乗竹 亮治

## 現地の姿、現場の声から見てきた「東京のこれから」

「超高齢社会における東京のあり方懇談会」では、我々が有識者として、閉ざされた会議室で議論を重ねるのではなく、多様な社会のステークホルダーに意見を求めてきた。現場に赴き、現場で活躍するNPOや、社会福祉法人、デザイナー、都市プランナーなど、当事者たちの知見や経験を語ってもらった。



医療・  
介護



地域・  
社会



大学・  
学生



緑化・  
農業



現地視察の様子

(上段：りえんと多摩平 下段：東京都医学総合研究所)



懇談会の様子

# 見えてきた「多世代・多種多様な人材が活躍できるコミュニティ施策」

「高齢者のための対策」のみではなく、「多世代・多種多様な人材が活躍できるコミュニティ施策」を実現するなかで、高齢者も社会の一員、コミュニティの一員として活躍できる場面が増えていくのではないかと。以下に事例の一部を示したい。

## 行政の「ほんの少しのお手伝い」



- NPOや社会福祉法人など地域づくりの担い手が使いやすい助成
- 多様な地域づくりの好事例を積極的に発信、オーソライズ
- 民間セクターとの間の人事交流

## 多様な主体・多世代型 地域づくり



- NPOなどによる空き家や空きスペースなど既存の施設やスペースの活用
- デザインやICTの活用による共感を呼ぶ集いの場
- 地域に開かれ多世代が集う学生や留学生施設

## 持続可能な地域づくりに向けて

「制度で支える高齢者」から  
「高齢者も生きる地域」へ

## 東京モデルの世界への発信



- 東京のコミュニティ施策や多様な主体による地域モデルを世界に発信
- 「Beyond 2020」を見据えたHealthy Ageing Tokyoの発信
- 未来技術のショーウィンドウとして東京を発信

## 地域で多様に活躍する高齢者



- 中高年の学習機会を拡大するための取組
- 福祉サービスを使いながらも社会参加できる仕組み
- 農業や小規模林業でも活躍できる仕組み